

子どもの粉薬 のませ方 幼児編

はじめに

今日の薬はどうやってのみますか？
のんだことのある薬でも使い方や注意することが変わっていることがあります。

薬の使い方を病院や薬局で確認しておきましょう。

○いつのませるの？

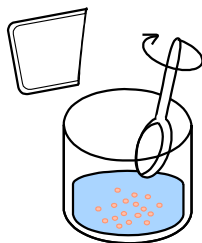
○一回にのむ量は？

粉薬ののませ方 その1

①粉薬に水を少量（10～20ml位）加えて、溶かしてのんでください。

②薬をのんだ後、口の中に薬が残らないように、水を飲ませてください。

*水の代わりに、お茶や牛乳、スポーツドリンク、ジュースなどを使う場合もあります。

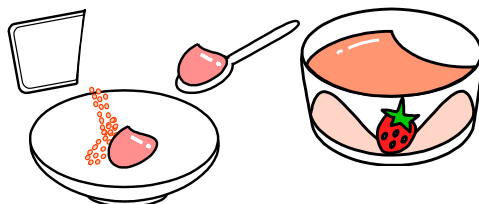


粉薬ののませ方 その2

①粉薬に好みの食べ物を少量（スプーン1～2杯位）加えて食べさせます。

ヨーグルトやゼリー、アイスクリーム、チョコクリーム、ジャムなどに混ぜるとのみやすくなります。

②薬をのんだ後、口の中に薬が残らないように、水を飲ませてください。



注意すること

・飲み物、食べ物に混ぜることで薬のコーティングがとれて、苦い味がでることがあります。混ぜてもいい薬かどうか、必ず確認してから、のませてください。

・薬はのませる直前に1回分だけを混ぜるようにし、作り置きはしないでください。

・薬をのみ残すことがないように、一回で食べられる量に混ぜてください。

・水に溶けにくい粉薬もあるので、注意してください。器に薬が残っている場合は、再度水を加えて混ぜてのませてください。

・薬が口の中に残ったままにすると、苦い味がでてきたり、口の中に不快感が残ったりすることがあります。

薬をのませるコツ

薬の味が嫌いなお子さんには・・・

・ジャムやココアなど、味や香りの強いものと混ぜることにより服用しやすくなることがあります。

・氷やアイスクリームなど冷たいものを食べておくと、一時的に味覚が鈍くなるため、薬を服用しやすくなります。

甘い薬が好きなお子さんは・・・

・砂糖をまぜると、甘味を増やしてあげることができます。

下痢をおこしているお子さんには・・・

・下痢が治りにくくなることがあるので、砂糖やはちみつ、オレンジジュース、乳製品などに混ぜるのはなるべく避けましょう。おすすめはりんごジュースやスポーツドリンクです。

子どもの粉薬 のませ方 幼児編

はじめに

今日の薬はどうやってのみますか？
のんだことのある薬でも使い方や注意することが変わっていることがあります。

薬の使い方を病院や薬局で確認しておきましょう。

○いつのませるの？

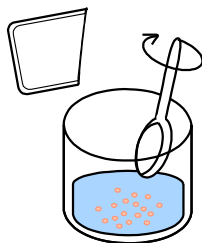
○一回にのむ量は？

粉薬ののませ方 その1

①粉薬に水を少量（10～20ml位）加えて、溶かしてのんでください。

②薬をのんだ後、口の中に薬が残らないように、水を飲ませてください。

*水の代わりに、お茶や牛乳、スポーツドリンク、ジュースなどを使う場合があります。

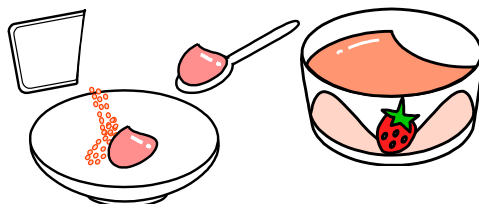


粉薬ののませ方 その2

①粉薬に好みの食べ物を少量（スプーン1～2杯位）加えて食べさせます。

ヨーグルトやゼリー、アイスクリーム、チョコクリーム、ジャムなどに混ぜるとのみやすくなります。

②薬をのんだ後、口の中に薬が残らないように、水を飲ませてください。



注意すること

・飲み物、食べ物に混ぜることで薬のコーティングがとれて、苦い味がでることがあります。混ぜてもいい薬かどうか、必ず確認してから、のませてください。

・薬はのませる直前に1回分だけを混ぜるようにし、作り置きはしないでください。

・薬をのみ残すことがないように、一回で食べられる量に混ぜてください。

・水に溶けにくい粉薬もあるので、注意してください。器に薬が残っている場合は、再度水を加えて混ぜてのませてください。

・薬が口の中に残ったままにすると、苦い味がでてきたり、口の中に不快感が残ったりすることがあります。

薬をのませるコツ

薬の味が嫌いなお子さんには・・・

・ジャムやココアなど、味や香りの強いものと混ぜることにより服用しやすくなることがあります。

・氷やアイスクリームなど冷たいものを食べておくと、一時的に味覚が鈍くなるため、薬を服用しやすくなります。

甘い薬が好きなお子さんは・・・

・砂糖をまぜると、甘味を増やしてあげることができます。

下痢をおこしているお子さんには・・・

・下痢が治りにくくなることがあるので、砂糖やはちみつ、オレンジジュース、乳製品などに混ぜるのはなるべく避けましょう。おすすめはりんごジュースやスポーツドリンクです。